

# ハンディ・ターミナル連動システム

## 事例①食品発送 出荷検品システム

### Point 1



受注入力→梱包→発送  
作業時間の短縮

### Point 2



出荷データから  
売上データ自動生成

### Point 3



賞味期限などの  
チェック機能あり

- ハンディターミナルを使って指示書に基づきピッキング
- ピッキングデータ(出荷データ)から売上データ自動生成
- パッケージソフトとの連動も可能です

#### <目的・効果>

受注の入力から梱包⇒発送までの作業時間の短縮と効率化のために導入。  
従来は入力した受注の内容をリストには印刷していたが、手検品による作業のために発送までの時間が掛っていた。

本システムの導入によりハンディターミナルを使用した検品作業により発送までの作業時間の短縮化および出荷実績のハンディターミナルからの売上データの自動作成により入力処理に関する負荷も軽減された。

また賞味期限のチェック機能により前回出荷した商品よりも古い賞味期限の商品の出荷を防ぐことが可能になった。

使用機器: BT-1000 (KEYENCE社製)

※ハンディターミナル内で使用するプログラムはKEYENCE社製の独自言語を用いてカスタマイズして使用しております。

※PCとハンディターミナル間は専用のクレイドルを用いて接続しております。

使用ソフト: uniPaaS VI PLUS (MagicSoftwareJapan社製)

機能詳細は裏面で

